



# かけはし

241号

2025年11月

ご自由にお持ちください

特集

京滋ドクターヘリが10周年を迎えました

リハビリ通信

回復期リハビリテーションについて



猛暑に  
 押され  
 出遅れた  
 今年の  
 秋だが

律儀にも  
 せつせと  
 木の葉を  
 染めている

葉

久美子  
 済生会



済生会滋賀県病院  
**特集**  
 -Feature-

# 10 京滋ドクターヘリが 周年を迎えました



滋賀県知事  
**三日月 大造**

このたび、京滋ドクターヘリが運航開始から10周年を迎えられましたことに、心からお喜び申し上げます。貴院におかれましては、京滋ドクターヘリの運航開始以降、10年にわたり安全運航の下、数多くの患者の救命に大きく寄与してこられました。これまでの貴院をはじめとした関係者の皆様方の御尽力に対し、深く感謝申し上げます。

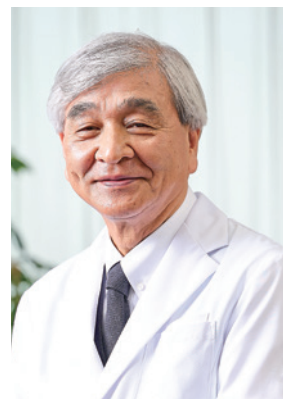
さて、2015年に京滋ドクターヘリの運航開始に伴い、関西広域連合管内全域でのドクターヘリ空白地域が解消するとともに、県内においては、どこでも30分以内で救急医療が提供できる体制が実現いたしました。また、アクセスが困難な場所にも短時間で到着可能なことから、地域間格差の解消にも貢献しております。本県としても、今後も関西広域連合の一員として、「安全・安心の医療圏 関西」の一翼を担っていただけるよう努めてまいりますので、引き続き、より良い救急医療体制の提供に向けた御尽力を賜りたいと存じます。

結びに、関係者の皆様方の御健勝と、社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院の益々の御発展をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

京滋ドクターヘリが運航開始から10周年を迎えました。基地病院として、この10年間、数多くの救命現場に携わることができましたことを誇りに思っております。これもひとえに、地域の皆様、関係機関の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

運航開始当初、フライトドクターはわずか4人でのスタートでした。現在(※)では10人に増員され、フライトナース10人とともに、安定した出動体制を確立しております。この間、培ってきた経験と技術により、病院前診療の質は着実に向上し、厚生労働省が実施する救命救急センターの充実段階評価では県内で唯一のS評価をいただきました。こうした高度な救急医療体制が京滋ドクターヘリ運航の基盤となっています。また、2018年からは福井県嶺南地域への運航も開始し、広域的な救急医療ネットワークの構築にも貢献してまいりました。

これからも安全運航を最優先に、さらなる医療の質の向上に努め、一人でも多くの命を救うべく、職員一同全力で取り組んでまいります。今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(※)2025年10月時点

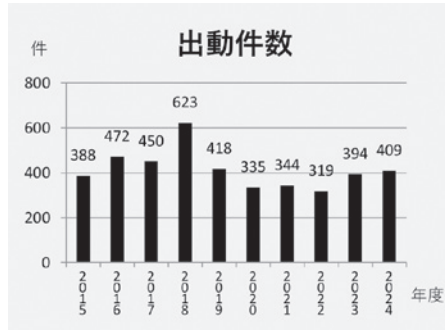


済生会滋賀県病院院長  
**三木 恒治**

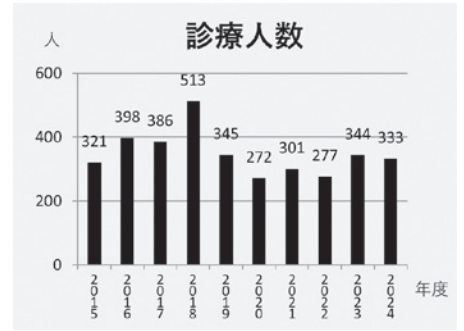
## 数字が語る10年間の実績



合計 **4,803** 件



合計 **4,152** 件



合計 **3,490** 件

## 滋賀県の事業として京滋ドクターヘリ誕生

京滋ドクターヘリは、2015年4月28日から関西広域連合の6機目として運航を開始した滋賀県が所有するドクターヘリです。京都府南部および滋賀県全域における「30分以内での救急搬送体制」構築を目的に、当院が基地病院に指定されました。

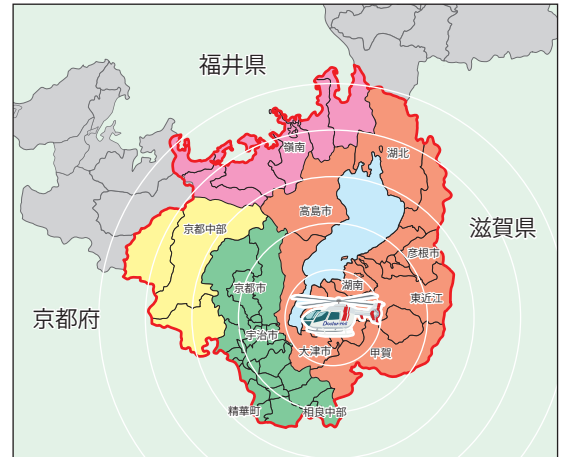
滋賀県内には山間部や湖を挟む地域が多く、地上からのアクセスだけでは迅速な救急対応に限界がありました。運航開始により、救命効果が高いとされる30分以内に初期診療が県内全域で可能となり、「空飛ぶER」という新たな手段を得たことで、より専門的な医療を現場へ届けるための大きな一歩となりました。



京滋ドクターヘリ就航式  
(左：三日月知事 右：三木院長)

## 要請エリア拡大、福井県の空へ

2018年9月、滋賀県と福井県の合意に基づき、福井県嶺南地域への運航が始まりました。当院はこの方針を受け、運航の一部を担う形で対応しています。現在は滋賀県全域、京都府南部、福井県嶺南地域が要請エリアとなっており、地理的な障壁を越えて救急医療体制を強化するため、現場救急隊や地域の医療機関と連携し、より迅速かつ質の高い医療を提供できるように努めています。この広域連携は、地域の枠を超えた医療協力の重要性を示す象徴的な取り組みとなっています。



現在の活動範囲

## 現在、そして未来へ続く挑戦

運航開始時4人だったフライトドクターは現在10人となり、フライトナースも10人に増員され、安定した運航体制が整っています。経験豊富な運航スタッフも加わり、各分野の専門職が連携することで、チーム医療の力を最大限に発揮しています。特に修正予測外死亡率(救命の可能性が高いと予測されていたにもかかわらず死亡した症例の割合)が低く、質の高い医療の提供につながっています。今後も、安全な運航を最優先に、病院前診療の質のさらなる向上を目指してまいります。



# リハビリ通信

## 回復期リハビリテーションについて

リハビリテーション技術科 作業療法士 鵜飼 昂

### 療養生活における3つの時期

病院や病気の経過は、大きく分けて「急性期」「回復期」「維持期(生活期・慢性期)」の3つの時期に分類されます。

急性期:発症直後の時期で、命を守ることや症状の安定を目的とした医療処置が中心となります。

回復期:全身状態が安定してきた患者さんに対して、自宅や社会生活への復帰を目指して集中的なリハビリテーションを行う期間となります。

維持期(生活期・慢性期):回復した機能を維持しながら長期的にその人らしい生活を支える時期です。

本稿では、この3つの時期のうち「回復期」に焦点を当ててその特徴・役割・意義について、以下にまとめてさせていただきます。

### 回復期リハビリテーションの特徴

#### ①日常生活動作の改善

移動・食事・排泄・入浴・更衣など、基本的な生活動作を自立して行えるよう支援します。



#### ②家庭復帰・社会復帰の支援

自宅・職場・学校など、生活環境へ戻ることを目指し、必要な訓練を行います。

#### ③心身機能の維持・向上

病期や怪我での心身機能の低下の改善を中心に、長期の入院による廃用症候群(使わないことで筋力や認知機能が低下する状態)を防ぎ、身体機能・認知機能の回復を図ります。

#### ④多職種連携による包括的支援

医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・社会福祉士などが連携して、個別性を重要視し最適なリハビリテーションプログラムの提案・提供をします。



#### ⑤退院支援・地域連携

患者さんの状態や家族様の状況に応じて、在宅医療・福祉・介護サービスなどの利用を調整し、スムーズな退院とその後の生活をサポートできるよう、地域支援者へ連携します。



#### ⑥患者さん・ご家族への教育と心理的支援

病気・怪我や障害についての理解を深めていただき、不安の軽減や退院後のセルフマネジメントを教育します。また、ご家族の介護負担の軽減を主とした指導も行います。



※回復期リハビリテーション病棟への入院には、期限や疾患の制限があります。

## 国民スポーツ大会での快挙!パワーリフティングで全国2位!

9月20日(土)、栗東市民体育館で開催された第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」において、小児科の中川亮佑医師がパワーリフティング競技に出場しました。全国から厳しい予選を勝ち抜いた強豪選手たちが集結する大舞台上、中川医師は開会式の選手宣誓という大役も務め、会場に熱気をもたらしました。

パワーリフティングは「スクワット」「ベンチプレス」「デッドリフト」という3種目の合計重量を競う競技です。中川医師は66kg級に出場し、スクワットで235kg、ベンチプレスで152.5kg、デッドリフトで252.5kgと、3種目すべてで自己新記録を更新。合計640kgという驚異的な重量を持ち上げ、見事全国2位に入賞しました。試合後、中川医師は「地域の皆さまのご声援のもと、このような結果を残すことができ大変うれしく思います。これからも業務と両立しながら、さらなる記録更新に挑み続けます」と述べました。

中川医師、本当におめでとうございます!



## 災害時備蓄食品をフードバンク滋賀に寄付しました

8月13日(水)、災害時に備えて保管していた備蓄食品のうち、賞味期限が近づいたものをフードバンク滋賀に寄付いたしました。

フードバンクとは、まだ食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で処分されてしまう食品を企業や個人から引き取り、食べ物に困っている方々へ無償で届ける事業のことです。食品ロスの削減と生活困窮者への支援という、二つの社会課題の解決につながる取り組みとして、全国で広がっています。

今回寄付した備蓄食品は、1ヶ月足らずで支援を必要とする世帯へ配分されました。フードバンク滋賀の担当者によると、アルファ米やレトルト食品など多彩な種類の食品が揃っていたことで、受け取られた方々にも大変喜ばれたそうです。特に、調理の手間がかからない備蓄食品は、ご高齢の方や単身男性の世帯から好評だったと伺いました。

今後も当院では災害への備えを万全にしながら、社会資源を無駄にしない取り組みを続けてまいります。



## 栗東市の生涯学習講座に講師を派遣

9月、栗東市が主催する生涯学習講座「はつらつ教養大学」において、当院の職員が講師として健康に関する講演を行いました。

この講座は、60歳以上の方々を対象に学びの場を提供するもので、受講される方々の関心事や地域が抱える課題をテーマに、充実した日々を過ごすためのきっかけづくりを目的としています。

当院からは、看護師2名と理学療法士1名が講師として参加しました。コミュニティセンターを会場に、3日間で91名の市民の皆さまにお集まりいただきました。講座では、脳卒中を早期に発見するポイントと日常生活での予防法、日々の暮らしで実践できる感染予防の知識、そして運動機能の低下を防ぐための体操指導など、日々の暮らしに役立つ健康情報をお届けしました。

病院での診療はもちろんのこと、こうした地域の活動を通じて、皆さまの健やかな毎日を応援することも、私たちの大切な役割だと考えています。これからも、地域の皆さまとともに歩む医療機関として、健康づくりのお手伝いをさせていただきます。



## 【続報】新外来棟を彩る 14メートルの大作

現在建設中の新外来棟には、横幅14メートルの巨大アート作品が設置されます。今回はその制作現場から進捗状況をお知らせします。

現在、14メートルのキャンバスの型取りが完了し、壁面に吊るすための金属部品の取り付け作業が行われています。新外来棟の設計図面をもとに、金具のサイズや角度を細かく調整しながら、溶接や樹脂を使って丁寧に固定していきます。



作者：ブライアン・ウィリアムズ氏

建物は緻密な図面で作られますが、私たちは手作業です。その両者を合わせることは難しく、面白さでもある。

冬にはキャンバスの作業が完了し、いよいよ絵を描く段階に入ります。どのような作品が完成するのか、今から楽しみです！



## 救急受診される患者さんへ 転院搬送にご協力をお願いする場合があります

当院は救命救急センターとして、命に関わる重篤な患者さんを24時間体制で受け入れています。この体制を維持するためには、常に院内のベッドを確保する必要があります。そのため、他の医療機関でも治療可能と判断した場合は、救命救急センターから直接、他の適切な病院に搬送、または当院に入院後、早期に他の適切な病院に転院をお願いすることがあります。より多くの命を救うためにご理解とご協力をお願いいたします。



## 栗東市民公開講座のお知らせ

11月15日(土)、栗東市在宅医療介護連携推進センターでは、栗東市民公開講座「最期まで自分らしく～在宅での看取りを考える～」を開催いたします。昨今、病院だけではなく施設や在宅での医療や看取りが増えつつあります。本講座では、現場の看護師や医師からの事例や栗東市にある在宅看取りを支える医師同士のネットワークについて紹介します。ご興味のある方は下記の電話番号、FAXまたはQRコードからお申し込みください。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

### 講演テーマ：「最期まで自分らしく～在宅での看取りを考える～」

	内容	講師
講演 ①	事例紹介	こびらい生協診療所 西澤 寛貴 医師 栗東市訪問看護ステーション 大西 幸子 看護師
講演 ②	栗東市の在宅医療を支える 医師ネットワークの仕組みについて	あらき内科クリニック 新木 真一 医師

〈日時〉令和7年11月15日(土) 14:00～15:30  
 〈会場〉済生会滋賀県病院 5階 なでしこホール  
 住所:栗東市大橋2丁目4-1  
 〈定員〉50名(※申込先着順)  
 〈費用〉無料  
 〈共催〉栗東市在宅医療介護連携推進センター  
 栗東市長寿福祉課

〈申し込み/問い合わせ〉  
 栗東市 長寿福祉課 地域支援係  
 TEL:077-551-0198  
 FAX:077-551-0548



▲申し込みフォーム

## 当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら

# まちの診療所紹介

## かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



滋賀県甲賀市甲南町野田475-6  
TEL. 0748-76-0387

### 【診療科目】

耳鼻咽喉科  
小児耳鼻咽喉科



▲やまもとクリニック

### 【診療時間】

午前診 9:00 ~ 12:00  
午後診 16:00 ~ 19:00



▲木村歯科医院

### 【休診日】

木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

## 甲賀市 耳鼻咽喉科やまもとクリニック

院長 山本 聡 先生

### 安心して幸せになるクリニックをめざしています

みみ・はな・のどの症状で困ったなあ、ちょっと不安だなあ、大丈夫かなと思ったときには気軽に受診して相談してください。正しい診断と治療をわかりやすく説明します。病院専門医とも連携し、適切な治療の選択について提案します。

私は大学附属病院や日赤病院に長らく勤務していて、もっと早くに診断と治療ができたならよかったのと思うことがありました。クリニックを開業したいと思ったのは地域の皆様が気軽に相談できる、不安な気持ちがなくなる医療をしていきたいからです。

隣接する木村歯科医院さんと連携しています。これからは耳鼻科と歯科が協力して診療することで、より一層治療効果が高まると思います。良いご縁をいただいて本当に感謝しています。

地域の皆様と仲良く、信頼されて持続可能なクリニックを目指して、これからも少しずつ改善しながら努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



## 新任医師紹介



①大学卒年 ②専門分野 ③趣味 ④自己PR ⑤抱負



整形外科 専攻医  
寺嶋 剛史

- 令和3年卒
- 整形外科一般
- ポーカー、旅行
- 患者さんお一人おひとりの声に耳を傾け、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。
- 気になることや不安なことがあれば、どうぞ遠慮なくお話しください。これからよろしくお祈いします！



耳鼻咽喉科 専攻医  
伊藤 智咲

- 令和5年卒
- 耳鼻咽喉科、頭頸部外傷
- 旅行、カフェ巡り
- 患者さまの生活や困りごとに寄り添った丁寧な診療を心がけています。
- 患者さまのより良い生活のために少しでもお役に立てるよう頑張ります！

### 病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

### かけはしNo.241 2025年11月

発行元 社会福祉法人 済生会滋賀県病院  
〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号  
TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>